

## 「震災思い出した」

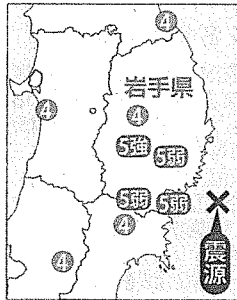
### 岩手 震度5強 被災地 驚きと不安

13日午前6時12分頃、宮城  
県沖を震源とする強い地震があり、岩手県花巻市で震度5強を観測した。気象庁によると、東日本大震災の余震とみられ、高層ビルなどを大きくゆっくと揺らす「長周期地震動」も発生。同県では、学校や商店の窓ガラスが割れるなどの被害が出た。

岩手県によると、小中高校の校舎など県内の教育施設12か所で窓ガラスが破損したり、壁の一部が剥がれ落ちたりした。けが人はなかった。

各地の震度

13日午前6時12分



花巻市のガラス細工体験工房では、ガラス細工数点が棚から落ちて壊れた。支配人の内田大輔さん(42)は

「4年前の震災を思い出した。余震は何度か経験したが、今までで一番長く揺れを感じた」と驚いた様子。同市のワイン製造販売「エーデルワイン」の直売店でも、ボトル70〜80本が陳列台から落ちて一部が割れた。営業部長の作山明生さん(53)は「揺れがもう少し長く続いたら、もっと被害が出ていただろう」と話した。

一方、震度5弱を観測した宮城県石巻市の仮設住宅で暮らす主婦瀬川純子さん(72)は「プレハブだから揺れがひどくて、怖かった。早くちゃんとした家に移りたい」と話していた。

同庁によると、震源の深さは46キロ、マグニチュードは6.8と推定され、今後1週間ほどは震度5弱程度の余震の恐れがあるという。